

社外重役

Selected Clients & Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド
 東京本社)東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル10F
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439
 大阪支社)大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル9F
 Tel.06-6448-2004 Fax.06-6448-0539

経営

医療施設にもQCサークル運動を 国民皆保険を守るためのカイゼン

元炭鉱の町として名をはせた福岡県飯塚市で全国から医師や病院経営者らが集まって「医療版トヨタ生産方式」の勉強会があった。医療版カンバン方式とは耳慣れないが、「病院でもムダを省いていこう」というのは歓迎されること。

「2014年診療報酬改定を少しでもプラス改訂」論議のさ中だから意義があるかもしれない。

会議のテーマはずばり「病院もムダのないカイゼン運動に取り組もう」だった。主催した飯塚病院の医療版品質管理プログラム(TQM)を全国で共有したいということが動機にある。

日本企業の改善運動は1960年代後半から、一部では「提案運動」と名を変えて全国的な大きなうねりとなった。時代を経て「QC(品質管理)サークル」へと発展する。ただしQCサークルなどの手法は絶対ではない。ムダ排除や品質管理を一丸となって取り組む姿勢が重要なのだ。

発表された飯塚病院での実践成果を列挙すると、「施術患者への説明から術前処置終了までの待ち時間163分→26分に短縮」、「針や注射器の容器、置き方を統一(救命救急センター)」、「転院時の待ち日数(ベッドの空き)平均13.5日→9.7日」など、画期的な効果を上げることに成功したのだ。

患者の満足度などが向上すれば病院関係者のモラルも高まる。すると安全など「質」が高まり経営の安定にもつながる。だから、国民皆保険制度を死守するための策がカイゼンなのだ。

税務会計

赤字法人調査で1割強が黒字転換 1件当たりの申告漏れは1288万円

今年6月までの1年間(2012事務年度)における法人の黒字申告割合は27.4%で2年連続増加したが、低水準は変わらず7割強の法人が赤字だ。このような状況に便乗して実際は黒字なのに赤字を装う企業が後を絶たない。

2012事務年度中に法人税の実地調査をした9万3千件のうちほぼ4割に当たる3万7千件は無所得申告法人の調査に充てられ、うち1割強(12%)の約4千社が実際は黒字だったことが、国税庁のまとめで判明した。

調査結果によると、実地調査した3万7千件のうち、約7割にあたる2万6千件から総額4803億円にのぼる申告漏れ所得金額を見つけ、加算税79億円を含む416億円の税額を追徴した。調査1件あたりの申告漏れ所得は1288万円となる。また、実施調査したうちの22.3%の8千件は仮装・隠ぺいなど故意に所得をごまかしており、その不正脱漏所得金額総額は1516億円にのぼった。不正申告1件当たりの不正脱漏所得は1819万円となる。

2012事務年度の無所得申告法人調査は、実地調査件数が国税通則法改正の影響で前年度比32.6%減、申告漏れ件数も30.6%減とともに大幅減少となった。この結果、黒字となった法人が約4千社あったわけだが、調査で把握された1件あたりの申告漏れ所得1288万円は、前年度から16.8%増加し、法人全体の平均1071万円を大幅に上回る。ここに、赤字の仮装などの観点から、無所得法人に対する調査を重点的に実施する背景がある。

今週のキーワード

TQM

飯塚病院のHPによると、TQMとはTotal Quality Managementの略で、全員・全体(Total)で、医療・サービスの質(Quality)を、継続的に向上させる(Management)ことが狙い。皆さんに覚えておいていただきたいのは、TQMは「TQMをやる」ことが目的なのではなく、「TQMによって、質を向上させる」ことが目的なのです。TQMは、「職員一人一人が、その手法を身につけることによる、質的向上と改善を進める体質作り」と言え、CS(顧客サービス)へ向けての土台作りとなる、と説明している。なお製造業などのTQMの歴史は半世紀を超す。